

令和4年度タウンミーティング記録

件名	(仮称)川西市子ども・若者未来計画(案)「市立就学前教育保育施設のあり方」に係るタウンミーティング
事務局 (担当課)	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課 内線(3442)
開催日時・場所	令和5年1月28日(土)10時~11時15分(久代幼稚園)
参加人数	13名

【閉会】

(事務局)

市長・教育長あいさつ、進め方の説明、計画(案)に関する事務局説明

【補足】以下の意見交換については、個人が特定される内容などを伏せた上で、発言者の発言内容をそのまま掲載することを基本的な考え方としています。

(参加者)

こども園になっていくのはとてもよいことだと思っていますが、気になるのは既存の施設を使うということですね。私も久代幼稚園出身です。もう30数年前になるのですが、ずっと変わらないですし、遊具もそのままです。このままこども園になって、手をつけてもらうところもこちらで指定はできないのでそちらで考えていただと思うのですが、どうなっていくのか心配です。川西北こども園のようにボルダリングがあるなど、遊具も新しくなって魅力のあるこども園にしてほしいです。そこはどうお考えですか。

(教育長)

基本的には単体で幼稚園という形ではなく、できるだけこども園という形で考えていきたいと思っています。幸い、ここはもともとお隣同士にありましたので、こども園の話の前から連携はされてきたところです。施設新設について、いつまでもこの施設でということとはできないので、どこかの時点でこの施設に手を入れていかなければならないと考えています。その間を既存の施設でという考え方です。新施設にする時に、どこに建てるのかということがあります。ここに建てるのとすると、ここを改造している間、その工事の時期にお預かりしている教育・保育に少し影響が出てくる可能性があると考えられます。工事するのに1年から2年くらいを見て、その間の子どもさんの教育活動をどうしていくのかということがあります。もう1つは、ここと違う場所によい場所があればと考えていますが、なかなかそのような土地が難しいということがあります。新しくできたこども園の施設を見たらよいものが出ていますので、将来的にはそのような形にしたいと考えています。

(市長)

場所も決まっていない段階で新設しますということまでは言えないということがあります。現時点では既存のものが活用できないかと思えます。施設を建てるというと、それなりの費用もかかってきますので、じゃあどのような財源になるのか、新しくするとなった時に運営はどうしていくのか、いろいろなことを考えていかないという中で、今一番スムーズにいくのはそのような形だと思っています。施設が新しくなるのであれ

ば、一定きれいな形で、ここの幼稚園の子どもがこっちにいった、あっちの保育園の子どもがきたという形ではない形してほしいというご要望だと思います。ご意見として頂戴したいと思います。

(参加者)

老朽化しているということで、施設を新しく建てられる、新しい場所に変えるということであれば、去年生産緑地の30年の締め付けが終わりました。延長したい方は10年という形になり、結構手放される方がおられるようです。確保するなら今です。農地がたくさんありましたが、区画整備に入ってきて進んでいくということなので、今しかないと思います。早々に結論を出していただきたいと思います。また、どれだけキャパにされるのかわかりませんが、どんどん宅地化が進んでいます。そうするとキャパを少し広めに持っておかないといけないと思います。川西市に人を呼び込むという施策を打たれているように伺っているのですが、そういったことを考えると、ここでは減少とは言われていますが、かたや呼び込みをする中でそれだけのキャパを持っていないと、また待機児童が増えていろいろと言われてしまいます。

広げれば広げるほど子どもを呼ぶことになって、結局待機児童がほとんど減らないのが現状だったのですが、最近では減少で空いてきてようやく待機ゼロになりました。どこそこの施設はよいという噂を聞きますと、他府県から寄ってきます。ですからいつまでたっても待機児童はなくなるのですが、でもやはりそういうことも踏まえて余裕があるキャパを持った施設を建てていただくようお願いしたいと思います。

もう1点、近々南海沖地震が起こると言われています。被害がどれだけになるのかわからないのですが、例えばゲリラ豪雨で大量の雨が降った時に、万が一猪名川が決壊したら全滅になります。その時に幼稚園が避難施設に対応できるような、少し床上げなどでよいのですが、何かそういったことを考えていただいて万が一の時に利用できるようにしていただきたいと思います。

また、運動会を見ていると非常に狭いところで子どもが走っているところを見ます。保育所の南側に公民館があり、公民館の北は少し余裕があるので、そこを取り込んで保育園の運動場を少しでも広げてもらえたらと思っています。ご検討いただけたらと思っています。

(参加者)

幼稚園のPTAをしております。幼稚園も50年過ぎています。耐震もしていると思うのですが、見ての通り裏が危険地帯になっています。がけ崩れなどの事故が起きたら、子どもがけがでもしたら大変なことになります。その点を保護者会としてやっていきたいと思っています。

また、保育園と幼稚園を一体化するのは私たちも賛成しております。どのような形で幼稚園と保育園をくっつけるのか、工事などについても詳しく聞かせてもらいたいと思います。

(教育長)

こども園は、あり方としては3、4、5歳が過ごすエリアと、0、1、2歳が過ごすエリアがあり、幼稚園と違うのは給食の提供があるので、現存で続けていくためにはそういったことを視野に入れていかなければならないと思っています。

ご提案にありました、災害時の場所などについては、1つは先ほども言いました、本当にこの場所でよいのかという問題について今ご提案もありましたのでその辺の情報は収集したいと思います。

また、これから新しい施設をつくっていく時に、複合的な視点でやっていかないとはいけません。これからの時代には、持続的な施設にするべきだと思いますので、複数の視点から見ていくような建物にしていくべきではないかと思っています。

(市長)

具体的にどのような工事になるということは、どこにどんな施設をどのようにつくるかということが、この議論が終わって、我々としてどうしていくか正式に動き出すという状況なので、こういったディスカッションの中で詰めていくこととなります。まだ詳細については決まっていない中でのディスカッションの状況だとしてご理解いただきたいと思います。

生産緑地のご提案というのは、最後は市長が許可しますのでたくさん出てきているというのはわかります。道路をどうするか、周辺をどうするか、どうしても現地建て替えをやりやすいのは、既に地域の中に溶け込んでいただいてかわいがっていただいている施設ですので、工事の期間は少しご容赦をいただくことになると思います。ここに子ども施設があるということへのご理解を既にされている地域から移転をすると、その地域で保育所や子ども施設を受け入れていただけるかどうかということを受け入れていただきたいと思いますのですが、過去からいろいろなことがありました。新しいところを買うというのは費用面も含めてすごく勇気がいると感じています。ただ、場所がなくて何もできないということではいけないので、場所を探すうえで、そういったところの情報もアンテナを高く持っていきたいと思います。ご提案として承りたいと思います。

(参加者)

現状、保育園は1歳児からの保育です。一緒になった時に0歳児からも保育していただけるのですか。

また、5人未満となった場合、閉園や休園というのが出ているので、みんな腹を探り合っているところがあります。そこはお母さんたちのしんどいところなので、子どもたちをどこに入れるか選ばせていただけるのはありがたいのですが、ある程度この年に閉園しますと言っていたほうが、あちは来年閉まるからうちの子どもはこっちにいかせようなど決めやすいです。そこは何か手がないのかと思っています。

(教育長)

ご意見の5人未満のところですが、これも本当に悩ましく、教育委員会事務局でもかなり悩んでいるところです。一番保護者の方にとってわかりやすいのは、何年度でこうなるということがわかればよいですし、はっきりしやすいです。以前にそうやって閉園したことがあるのですが、よく出てくるのは何人になるかわからないのになぜ現状を見てやめるのかという話です。もちろん推計はして、推計してこのようになる見込みですという話はしているのですが、なかなか推計だけでは難しいところがあります。5人未満というも、集団教育が難しいであろうという人数になった時点で検討しますという言い方をしているので、保護者の方には不安になっているとは思っています。その辺はこちらの言い分になってしまいますが、幼稚園の教育を希望されているのであれば希望を園のほうに伝えていただいて、おおよそ何人くらいであるかというのは保護者の方でもわかっておられるので、その時点での判断になるかと思っています。これは本当に難しい問題です。その辺はご指摘のとおり、わかればできるだけ判断できる時にはこの時点でのというのは明確にしたいと思っています。0歳児については、事務局で検討したいと思うのですが、0歳なのでそれなりの施設や人員が必要となります。バランスを考えながらやっていきたいと思っています。

(参加者)

加茂幼稚園は幼稚園として、まず3歳児を受け入れてからこども園に変わっていきましたよね。こちらはそんなことは考えないのですか。0～2歳は保育園のイメージがあるのですが、3歳児はどのようにお考えですか。

(教育長)

基本的に、3歳児は考えていません。加茂の事例は、非常に特別な扱いでした。民間と公立園の役割分担をした時に、やはり3歳児から税金をかけてやるということが、逆に民間を圧迫するといったことも考えられるので、今ある現存の園もそうですが4、5歳児という形で考えています。逆に3歳からはこども園になったらそのような形で1号認定、2号認定という形で考えていくというのが基本的なスタンスです。ふたば幼稚園があって、そこと加茂を一緒にする時に、近隣にあまり民間の施設がないということで特別に考えたという経緯がございます。

(参加者)

今はコロナでやっていないのですが、公民館のほうで月に1回高齢者の方のふれあい広場があります。そこに幼稚園さん、保育所さん、それからあおい宙さんの5歳児、6歳児の子どもさんをお招きして高齢者とのふれあいという場をつくっていました。また5月からやっていきたいと思うのですが、認定こども園のほうになるとそういったことができるのでしょうか。また今は公民館にきてもらうという形なのですが、逆に高齢者を招いてできるような場所もあったらよいと思います。高齢者の方は子どもがきてくれるととても喜ばれます。ぜひそのような場所ができるようにご検討いただけたらと思います。

(教育長)

幼稚園現場や保育園現場にもいかせていただき、そのような話も聞いております。できるだけ地域の方々と交流し、地域の方々にご支援をいただきながら子どもたちが育っていっているのはとてもよいことだと思います。それはこども園になっても、人との交流は財産ですので、ぜひ進めていっていただきたいと思ひますし、支援していきたいと思ひます。残念ながら、今コロナで特に過去2年間非常に厳しい状況です。子どもたちの活動もかなり制約されているところです。先ほどおっしゃったように、2類から5類に変わるタイミングで、どのような形の交流になるか、その時の状況を見なければいけません。大人の1年と子どもの1年は違って、子どもはその時期にしか体験できないということもあるので、どのように進めていくのか現場と相談して考えていきたいと思ひます。

(参加者)

子どもが通行する時に、車が割と通ります。緑の線を内側まで引いていただくことはできませんか。先生方もこの線から出たらいけないということをお願いしたいと思います。その点も考えてほしいと思ひます。

(市長)

今日ご意見をいただいたということで、道路の部門や交通の部門、当然幼稚園、保育園の現場の先生方と相談して検討させていただきたいと思ひます。

(参加者)

今のグリーンベルトの話ですが、小学校に上がる道に細い横断歩道のまでところだけようやく去年の12月につけてくれました。3、4年前からお願いしていたのですが、それも本当に1人歩けるか、歩けないかの線です。その反対側には歩道があります。そこに横断歩道をつけてと前からお願いはしてありました。なぜか警察が渋ります。道幅がないところに細いグリーンベルトをつけてもらっても、子どもを小学校に送っていく時

に坂の上を見るのですが二列になって歩いています。横断歩道さえつけてもらえれば、子どもは安全に歩道を歩けます。保育施設には関係ないのですが、ご検討いただけたらと思います。

(市長)

どこが危ないというのは、毎年通学路点検があり私にも最近終わったという報告がありました。横断歩道はつけたらその影響がどのようにあるのか、よいと思ってつけたけれどかえってそこで事故が起きたらいやだとか、信号機から信号機まで距離が必要だとか、そういったことを考えてされるとはお聞きしています。ただ、どのような状況でできていないのか、警察がつけるほうが危ないと判断しているのか、こういうリスクがあると考えているのか、予算を上にあげたけれどダメだったとか、そういったところは少し調べて報告できたらと思います。

(参加者)

久代幼稚園は卒園生が10人くらいなのですが、小学校に上がった時に80人くらいになります。久代地域は伊丹や池田と隣接しているので、私立があおい宙しかないということもあり、あおい宙も10人いるくらいで、加茂も3、4人だと思います。みんなどこにいつているのかと思います。伊丹の私立、池田の私立はバスが迎えにきています。お母さんに話を聞いていても、やはりみんなよそに出ます。それがとてももったいないと思っています。久代地域は温かいところですし、農家の方とも連携していたりして、地域性はすごくあるので、そのような方を呼び戻したいです。そのような把握はしていますか。みんなで一緒に育て、小学校、中学校と上がって、お母さんたちも一緒に保育、教育をしていきたいというのが切なる願いです。

(教育長)

ありがとうございます。精緻に把握しているわけではありませんが、市外にいておられるのは南部も北部もそういった状況があるのは認識しております。地域と密着してやっていけるというのが地元の幼児教育、保育施設として重要だと思っています。ただ、お叱りを受けるかもしれませんが、市内の子どもを市内だけで保育するために税金を入れるのがよいかと言われると、そこはなかなか難しい判断があるのはご承知おきいただきたいと思います。これから厳しくなっていく財政状況で、本当にそういった投資の仕方はよいのかどうかというのは迷いがありますし、そちらの方向には進みにくいというのが正直な意見です。

(市長)

公立も私立も歩いて行ける地域だけれど、やはりバスに乗ってでも積極的に幼児教育の良い園を選ぶという方たちもいらっしゃいます。全部ここの中に取り込むのがよいかというと、すべて公立認定こども園で小学校と同じ規模を持ち続けるという、ここは今まったく白紙からつくったらそれがよいのかもしれませんが、今それぞれの施設がある中で、そういった選択にはなかなかならないと思っています。すごく大切なことをおっしゃっていただいたと思うのは、私立だろうが公立だろうがどこでも小学校や地域としっかり結びつけられるように我々もサポートしていくということだと思います。久代の方はあおい宙の方も含めて久代の子どもだと言って一緒にしていただいているので、多くの地域はそうしていただいているのですが、そういった文化、私立だから小学校と接続しないということではなく、それはどこでも大丈夫だということをちゃんと発信できればと思います。

(参加者)

私はファミリーサポート事業の会員をやっていて、お母さん方から保育所を探していて10園くらい申し込んだという話も聞きました。今、待機児童が0になったというお話でしたが、川西の駅前の小さな保育園がやっと見つかったというお母さんもいらっしゃいます。お聞きしたいのは、こども園になれば0、1、2、3歳の枠は広がるのですか。

(教育長)

基本的にはその時の待機児童の状況などを見ながら考えていかなければならないと思います。待機児童は非常に難しい問題があり、希望するところになかなか入れないということもあります。ここでないといやだと言われる方もおられます。はっきりとした数字は出ていませんが、コロナ禍の影響なのかわかりませんが、子どもさんを預けたいと言われる保護者の方の人数は増えていると言われていています。子どもは減少するけれど、預けたい保護者の方の割合は上がるかもしれませんので、その辺はなかなか読むのが難しいのです。そこは見ながらやっていきたいと思います。待機児童0と言ってもそのような状況がありますので、ある程度余裕があるようなものを考えていかなければいけないと事務局では話をさせていただいております。

(参加者)

私もここに嫁いできて、幼稚園に子どもを入れて見てきました。できるだけこの周りで子どもたちが集まって自由に遊べるくらいに子どもが自由であればよいと思います。保育所や幼稚園の先生がどのように子どもたちを育てていきたいのか、自分たちが勤める場所がどのようになってほしいのか、30年前とは違うと思います。30年前は子どもがたくさんいて、ここは危ないからと制限されたりしていました。今は10人と言われました。先生たちの目がしっかり見えてよいという反面、自由がないのだらうと思います。小さい時の悪さをする自由が少しほしいと思いました。幼稚園、保育園という時期は人をつくるので、人をつくるだけの人をあてがってほしいと思います。

(教育長)

幼稚園、保育園の職員の意見もいろいろな形で聞ける場をつくっていきたくと思っています。私もできるだけ現場を見たりしていますが、正直言うと現場の状況は厳しいです。1つは何十年前のある意味大らかな時と違い、今は非常にいろいろな目が厳しくなっていますし、保護者のニーズも高くなっているのが現状だと思っています。あってはいけないことですが、叱った時に虐待と受け止められるという話もありました。そのような幼児教育、保育の現場も学校と同じように厳しい目で見ると、こだわりを持って取り組んでいると私は思っています。もう1つの面では職員配置です。現状ではいろいろな面で支援していく必要があると思っています。ただ、民間もある中で基準を触ることについてはそれなりの理屈はいると思っています。現場が厳しい状況であるということは私も認識していますし、何らかの形で改善できる方法はないだらうかと思っています。話はそれなのですが、私はそういう幼児教育、保育が非常にこだわっているいろいろな取り組みをされていることをもっと発信してほしいという思いがあります。この間から学校と一緒に研修をして、幼児教育、保育から学校教育が学ぶことはないかということや、民間とも連携して公立はこういう取り組みをしている、民間はこういう取り組みをしているというような交流をすることによって、それぞれのスキルアップをめざしたいと思っています。今年度、夏からそのような形でやってもらい、民間にも発表してもらって、幼児教育も機会があれば研究発表に指定するなどの機会を設けたいと思っています。最近の学校の1つの傾向として、幼児教育における主体性や自主性みたいなものをもう少し学校が身につけていかなければならないという流

れになっていることはお伝えしておきます。

（参加者）

公立なので園ごとに公平が原則になります。園ごとに特色はありますか。民間の幼稚園や保育所は色々とメニューで特色を出しているの、みんなそちらにいくのだと思います。公立は特色を出しづらい部分があるとは思いますが、それぞれの園でそれぞれの特色を出し、例えばこういったものに特化して力を入れている、こちらの園ではこのようなことに力を入れているといった教育方針にはできませんか。

（教育長）

公立がどうか、民間はどうか、これから先もっと連携していきながらお互いのよいところ、取り入れるところなど、交流していかなければならないと思っています。私が認識している公立幼稚園、保育所も含め、良さの1つは子どもの主体性を非常に大事にしているということです。英語を早くから学んだり、体操をしたりという早期教育と言われるものですが、それも保護者の方にとっては魅力的に見えるかもしれません。それとは別に子どもの主体的なものをすごく大事にして、遊びの中に学びがあり、一見遊んでいるけれどその中に子どもが発見したり、コミュニケーションを取ったり、そういったものを育てていこうということがありますが、これは先ほどの話と通じてなかなかわかりづらいです。子どもの主体性を育てていることと、早期に英語を教えていることはどう違うのかということがわかりにくいです。ただ、学校教育などでも今言われているのですが、幼児教育の視点で早期教育をすることはもちろん否定はしませんが、子どもの主体性を育てることは学力テストで測れません。我慢する力、協力する力、自分で考える力といった非認知能力の育成には非常にこだわってやってくれています。そのうえで、各幼稚園が例えば地域と一緒に畑を耕して交流をしているとか、公立であることの強さを持って小学校と中学校と連携しているとか、そういったことをされていると思います。なかなかわかりにくいからこそ、私はもっと発信していくべきではないかと思います。学校教育において、幼児教育、保育の時期の我慢する力や協力する力が最終的には本当の意味のその子どもの生きる力につながっていくとだと思っています。

（参加者）

発信するだけの人材をよろしく願いいたします。

（市長）

カリキュラム、具体的にどうするかというのは私の範疇を越えているのですが、基本的な考え方として公立は人事のローテーションをしますので、公立では、市として統一をして取り組んでいます。北部にいったらスパルタで、南部にいったら優しいとか、自由だとか、園長先生が変わるたびに違うというわけにはいきません。私立は経営者が一緒ですし、建学の精神に基づいて実施していくのですが、それを前提にしたうえでそれを表現する方法として、例えば久代では久代の地域といちじくを使って何かをするということを経験の手段として使うとか、北のほうであれば里山や地域の自然を使ってということで、表現の仕方にそれぞれ工夫をして、体制のところは統一している、私立とも統一できるのところ、例えば特別支援はインクルーシブでやっていくのだということは私立も巻き込んでやっていかなければいけないところです。そういった考え方でいきたいと思っています。ただ、おっしゃったとおり、我々マネジメント層は非常に不利です。何が不利かと言うと、現場はこんなに大変だということで現場と対峙しているときは、マネジメントの気持ちもわからないのというやり取りになるのですが、地元の皆さんが現場の先生方を応援していただきますので我々のほうが

不利になっていると感じます。

働き方なども、学校現場でも同じことを言っているのですが、3つやらなければいけません。1つは、我々が人の手配をどうやっていくのかという増員する部分、もう1つは、そもそも仕事を減らすことです。今やっている当たり前のことは、実はやめられることはないかということを考えていかないといけないと思います。例えば、保育所ですと、今まではおむつは保護者が持って帰っていました。そうするには、子どもごとに使ったおむつを分けることになります。そうではない方法にしようということで、仕事のやり方を変え、やらなくてよいというものをやめる、もう1つは効率的にしようということで、例えば今まで手書きでやっていたものをIT化したら瞬時に計算できるなど、そういったことも含めて増やすもの、減らすもの、回転をよくしていくもの、これは私たちが努力しないといけないし、現場も努力しないといけないし、地元の人にもご協力いただきたいところがあるということで、ぜひ色々助けていただければと思います。

（参加者）

特色ではないのですが、園を選ぶ時に今のお母さん方はネットで園の情報を見ます。市の公立やこども園のホームページがわかりにくいです。どこにあるのかもわかりませんし、見にくいし、古いと思います。お金をかけられないというのはわかるのですが、お金をかけずとも触れるところなのではないかと思います。もう少し分かりやすくして情報が取りやすくしてほしいと思います。市のホームページ上で、ここを押したら子育ての情報を見られるというものをつくってほしいです。園の情報ももう少し分かりやすく載せていただきたいと思います。

（市長）

正直、今のホームページは見にくいです。どこに何があるのか、私も探せない時があります。私が調べても4クリックしてようやく探せるような状況でしたので、今全面的に見直しています。学校も今のシステムになったのは10年くらい前だと思います。そこもご意見としてわかりやすく情報がどうやったら発信できるかは宿題ということにさせていただきます。

【閉会】